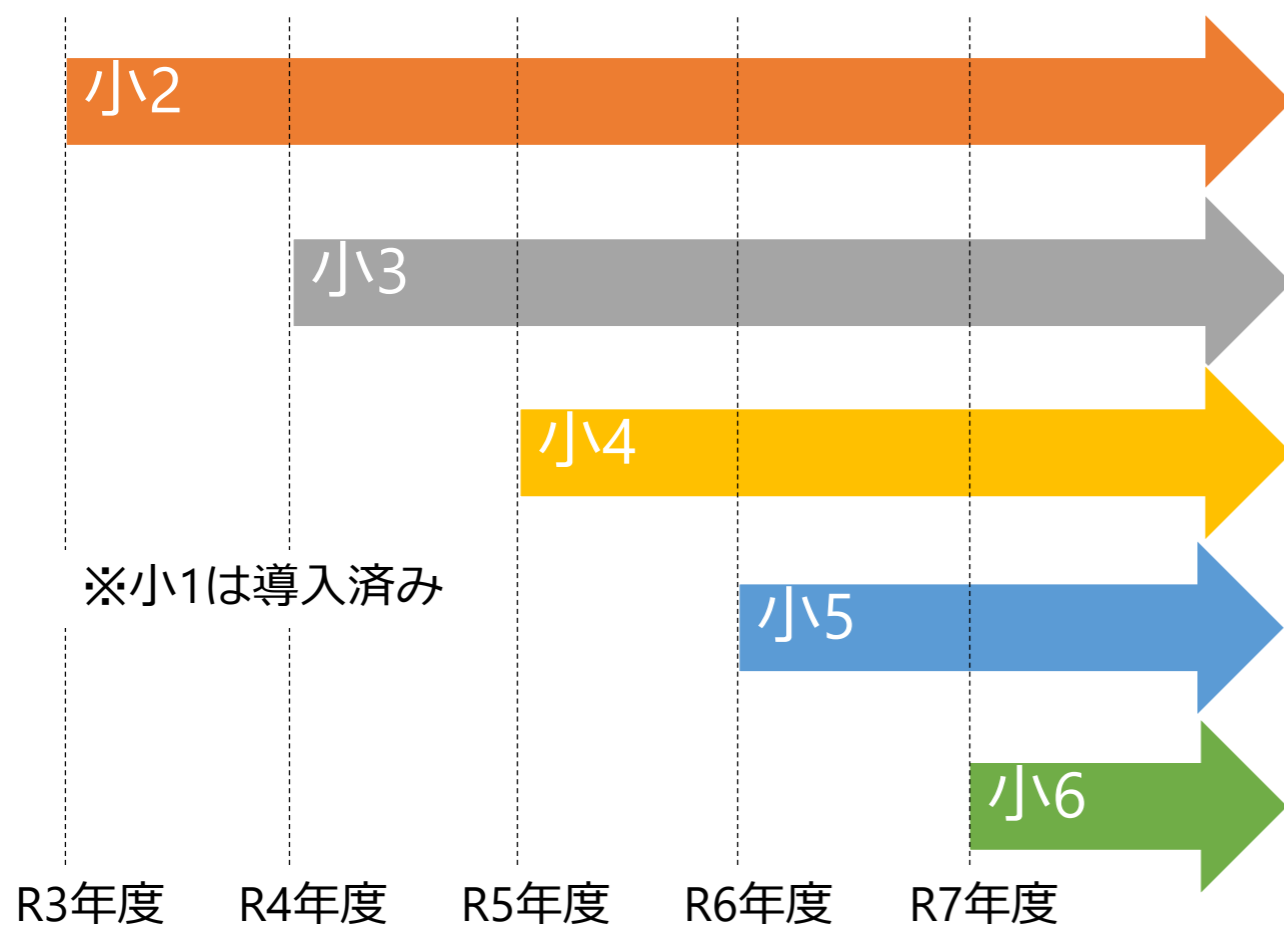


文部科学省 公立小学校35人学級へ段階的移行

35人学級の学年別導入年度



● 概要

- 公立小学校の1学級の児童数（学級基準）が、現行40人から**35人**に計画的に引き下げられる
- R3年度から小2で開始（小1は35人）し、毎年1学年ずつ5年かけて、R7年度までに全学年で完全実施
- 引下げに伴う副校長・教頭や生徒指導担当教員などの教職員配置の充実のための定数改善を図る

● 導入に向けた議論の背景

- 少人数によるきめ細かな指導体制の整備
- コロナ禍での感染対策
- 教員の負担軽減（事務仕事や保護者対応など）
- GIGAスクールの構想の下、1人1台端末の活用
- 学校でのいじめや、外国籍の子や障がいのある子なども含めて、個々のニーズに応じた対応

● 府中市への影響

R12年度の状況

学校名	40人学級の場合		35人学級の場合	
	学級数	1学級あたりの人数	学級数	1学級あたりの人数
一小	33学級	34.9人	35学級	32.9人
二小	32学級	35.5人	35学級	32.1人
三小	25学級	35.4人	29学級	30.0人

- その他の市内11校※では、35人学級への移行によるR12年度の学級数及び1学級あたりの人数に変化は見られなかった

11校※ 七小・九小・本宿小・白糸台小・矢崎小・南白糸小・住吉小
・四谷小・新町小・南町小・日新小

- すでに2学年まで35人学級を実施しているので、来年度は影響ない。
- 35人学級に移行しても、最大で4学級増加する。

出典：
文部科学省大臣官房会計課「01 令和3年度文部科学関係予算（案）のポイント」（令和3年1月）
文部科学省初等中等教育局「07-1 令和3年度予算(案)主要事項」（令和3年1月）